

## 電事連会長 定例会見要旨

(2022年6月17日)

電事連会長の池辺です。よろしくお願ひいたします。

本日、私からは「2022年度の電力需給状況と節電のご協力のお願い」「電力業界の原子力再稼働に向けた取り組み」について申し上げます。

<2022年度の電力需給状況と節電のご協力のお願いについて>

はじめに、2022年度の電力需給状況と節電のご協力のお願いについて申し上げます。[資料1](#)をご覧ください。

6月7日の国の関係閣僚会合でも示されました通り、今年度夏の電力需給の見通しは、全国8エリアで予備率3%をぎりぎり上回る厳しい状況となっております。さらに、冬は、東京から九州にかけての7エリアで3%を下回り、1、2月の東京エリアでは依然としてマイナスとなるなど、東日本大震災以降で最も厳しい見通しです。まさに昨日、萩生田経済産業大臣から、電力の安定供給に万全を期すべく、事業者としてしっかりと対応するよう、ご要請をいただきました。

予備率がマイナスということは、端的に申し上げて、電気が足りなくなるということです。しかも、これらの数字はロシアからLNGが届く前提です。ウクライナ情勢等により、万一、サハリンIIからの供給が途絶えるような事態となれば、状況はさらに悪化します。夏はもう目の前であり、冬に向けても半年しかありません。私どもとしても非常に危機感を持っており、供給側、需要側、双方の対策に最大限取り組んでいく必要があると考えております。

国において取りまとめられた2022年度の電力需給対策において、供給側ではすでに、不測の事態に備えた一種の社会的な保険として、夏に向けて一般送配電事業者によるkW公募、kWh公募などの追加対策が行われておりますが、私どもとしても、火力発電の燃料の確保や、設備のメンテナンスに全力を注ぐ必要が

あります。また、需要側では、産業界や自治体と連携した節電対策やその実行体制の構築、ディマンド・レスポンスの普及拡大、需給ひっ迫警報・注意報等の国からの節電要請の高度化、使用制限令やセーフティネットとしての計画停電の円滑な発動に向けた準備などが検討されておりますが、私どもも、国や広域機関、一般送配電事業者と連携しながら、それらの内容にしっかりと協力してまいります。社会の皆さまにも、無理のない範囲で、できる限りの節電をお願い申し上げます。

エネルギーの効率的な利用に向けた取り組みは、夏・冬に限らず、いつでも、誰にでも取り組んでいただくことができ、しかもやって後悔するようなものではないと考えております。ご家庭において、すぐにでも取り組んでいただける例としては、夏であればクールシェアリング、冬であればウォームシェアリングなど、ご家族が1か所に集まって過ごすことが挙げられます。またもう少し長い目を見て、より効率のいい省エネ機器への更新や、建物の高気密化、高断熱化を行うことも考えられます。こういった取り組みは涼しさ、温かさを確実に得ることができるとともに、エネルギーコストの低減といったメリットも同時に得られるものです。その他、ご家庭で取り組んでいただきやすい節電の方法について、別紙でご紹介しておりますので、ご覧いただければと思います。

このように、エネルギーの効率的な利用は社会全体で取り組むことができるため、私どももしっかりと情報発信をしていくとともに、できればマスコミの皆さまにも、エネルギーの効率的な利用の呼びかけをお願いできればと考えております。

また、今回の国のとりまとめでは、こういった足元の対応に加えて、「構造的対策」として、今後の供給力の維持・拡大を図るために、発電所の維持・活用や新規投資の拡大を促すための制度の検討を早急に進めるとされております。中長期的に安定供給をしっかりと確保していく観点から、魅力的な発電事業を実現する具体的な仕組みの検討も非常に重要な課題と認識しており、こちらも早急に議論を深めていただくことが必要です。私ども電気事業者としても、その検

討に協力してまいります。

＜電力業界の原子力再稼働に向けた取り組みについて＞

次に、電力業界の原子力再稼働に向けた取り組みとして、電事連に設置した「再稼働加速タスクフォース」について申し上げます。[資料 2](#)をご覧ください。

先月、電力需給のひっ迫、世界的な化石燃料価格の高騰などにより、原子力発電の重要性はますます高まっていることをご説明いたしました。国から示されたクリーンエネルギー戦略の中間整理では、エネルギー安全保障や脱炭素に向けた政策として、「2030年度原子力比率目標達成に向け、安全性の確保を大前提に、地元の理解を得ながら、原子力発電所の再稼働を推進」することが明記される一方、実際には、現時点で原子力規制委員会の審査で許可をいただいたプラントは計 17 基、そのうち再稼働に至ったプラントは 10 基にとどまっており、再稼働を加速させていく必要があります。1 ページをご覧ください。

私どもとしても、新規制基準による審査が開始されて以降、一日も早い再稼働に向け、審査情報の共有や各社間での人的支援等、審査の加速に向けた取り組みを行ってまいりましたが、再稼働の更なる加速に向け、業界横断的な取り組みを行うため、2021年2月に「再稼働加速タスクフォース」を設置しており、今回はその取り組みをご紹介します。

再稼働加速タスクフォースでは、適合性審査に関する技術的情報の共有、使用前事業者検査や運転員・保守員の力量向上など再稼働に至るまでの業務全般を、業界全体で支援し合うこととし、資料の 2 ページ目にあります通り、主には、

- ① 業界大の機動的な人的支援の仕組みの構築と実践
- ② 後発の審査を加速するための最新審査情報の共有
- ③ 再稼働準備に向けた技術的支援

を行っております。

1 つ目の「人的支援の仕組みの構築と実践」では、審査の課題に対応する人的

支援を、業界大で機動的に行うための仕組みを構築しており、これまでに、日本原電の敦賀発電所 2 号機において、資料の書き換え等で中断していた審査を早期に再開するため、審査資料の品質向上に向けたプロセスレビュー等を業界大で支援しております。また、北海道電力の泊発電所 3 号機の審査では、本年 3 月に原子力規制委員会から、残された論点が整理されたこともあり、今後、整理された論点である火山影響評価などに関する審査資料のレビューや、先行する電力会社の審査内容を網羅的に把握し、泊発電所の審査上の論点を抽出するための検討についても、審査を終えた電力会社に支援いただくなど、具体的な連携を業界大で、機動的に行って参りたいと考えております。

2 つ目の「最新審査情報の共有」では、審査資料作成の効率化を目的に、先に審査を終えた電力会社の申請書や審査会合の議事録等、最新の審査情報の電子データをパッケージとして、これから再稼働させる電力会社に共有しております。また、コロナ禍において実施が困難になっていた規制庁による事業者ヒアリングの傍聴について、中国電力島根原子力発電所 2 号機のプラント設工認ヒアリングで実施可能な仕組みを構築し、運用しております。

3 つ目の「再稼働準備に向けた技術的支援」としては、長期間停止していたプラントの起動に万全を期すため、JANSI および再稼働済みの関西電力にご協力いただき、再稼働に至るまでに得た知見や教訓を、これから再稼働させる電力会社と共有するための「再稼働準備内容説明会」を開催いたしました。本説明会では、全国の発電所長以下、現場で対応する約 500 名が、自分たちの担うべき業務内容の理解、意識向上に貢献しております。

こういった取り組みを行うことで、より早期に原子力発電所の再稼働を進めることができるよう、私どもとしても最大限取り組んでまいります。

資源に乏しい我が国にとって、太陽光や風力といった再エネをしっかりと活用することは重要ですが、エネルギーの安全保障や経済性の確保、さらには 2050 年カーボンニュートラルの実現という S+3E の観点から、原子力発電は、非常

に大きな役割を果たします。地元をはじめ社会の皆さまとのコミュニケーションを行い、ご理解をいただくことを大前提に、今ある原子力を、安全最優先で、最大限活用していきたいと考えております。

本日、私からは以上です。

以 上

## 2022 年度の電力需給の見通しと節電のご協力をお願いについて

2022 年 6 月 17 日  
電気事業連合会  
送配電網協議会

今年度の非常に厳しい電力需給の見通しを踏まえ、国の審議会でその対策の検討が進められ、本年 6 月 7 日、政府の「電力需給に関する検討会合」において、今年度の電力需給の見通しと総合的な対策がとりまとめられました。

今年度の電力需給について、夏は東北・東京・中部エリアで 7 月の予備率が 3.1%と安定供給に最低限必要な予備率 3%をわずかに上回る非常に厳しい見通しとなるとともに、冬は東京から九州にかけての 7 エリアで予備率 3%を下回るなど、東日本大震災以降で最も厳しい見通しとなりました。加えて、ここ数年の需要の増加傾向や、ウクライナ情勢の影響による燃料調達リスクの高まりを踏まえると、電力需給の見通しは極めて厳しく、予断を許さない状況にあると認識しております。

そのため、私どもとしても、まずは当面の厳しい需給状況を乗り越えるべく、設備トラブルによる供給力の減少リスクに備え、適切な設備保全や燃料確保に努めるほか、kW 公募や kWh 公募といった追加の供給力確保策に加え、需要面では節電を呼びかけるとともに、ダイヤモンドリスポンスの普及拡大に向けた検討を進めるなど、需給両面で最大限の取り組みを行ってまいります。

皆さまには、無理のない範囲でできる限りの節電にご協力いただきますようお願いいたします。

2022 年度夏季の電力需給見通し※ (単位 : %)

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄	
7 月	21.4	3.1			3.8					28.2	
8 月	12.5	4.4									22.3
9 月	23.3	5.6									19.7

※ 10 年に一度の猛暑を想定した需要に対する予備率  
(6/7 電力需給に関する検討会合資料より作成)

<別紙>省エネ・節電お役立ち情報

<参考>電気事業連合会「省エネ・節電お役立ち情報」

<https://www.fepec.or.jp/sp/powersaving/index.html>



以上

省エネ・節電

お役立ち  
情報

みなさんのご家庭でできる

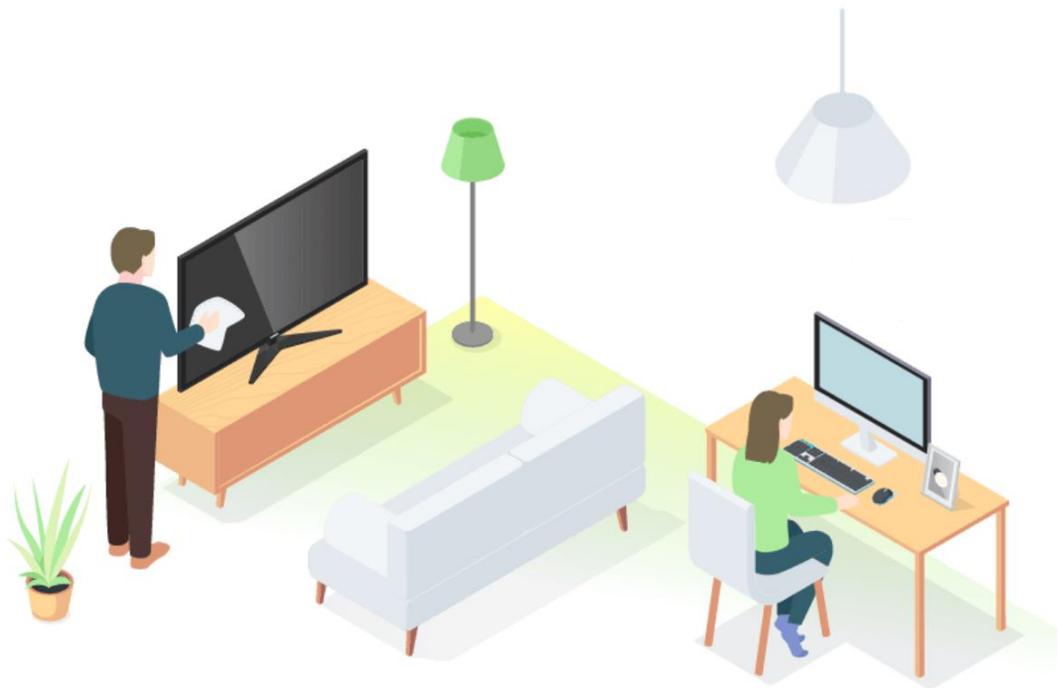
効果的な省エネ・節電の方法の一例をご紹介します。

詳しくはHPをご覧ください。

power saving &amp; ecology

## すぐにできる省エネポイント

- 涼しい場所をみんなでシェアするクールシェアリングに取り組む。
- 電気製品の無駄な使用を控える。
- 省エネモードがある電気製品は、省エネモードで使用する。
- 使用していない電気製品のプラグはコンセントから抜く。



# 効果的な家電の使い方

※消費電力の削減量、CO<sub>2</sub>の削減量、節約金額は年間での影響

## エアコン

夏の冷房時の室温は28℃を目安に

外気温度31℃の時、エアコン（2.2kW）の冷房設定温度を27℃から28℃にした場合  
（冷房期間 3.6か月（6月2日～9月21日）112日、使用時間：9時間/日）

▼ 消費電力の削減量 30.24kWh

🍃 CO<sub>2</sub>の削減量 14.8kg

→約820円の節約

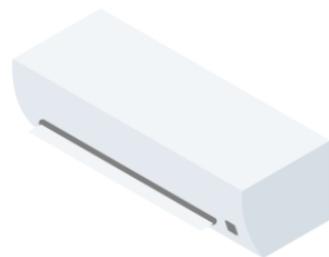
フィルターを月に1回か2回清掃

フィルターが目詰りしているエアコン（2.2kW）とフィルターを清掃した場合の比較

▼ 消費電力の削減量 31.95kWh

🍃 CO<sub>2</sub>の削減量 15.6kg

→約860円の節約



## 冷房時の工夫

ドア・窓の開閉は少なく、レースのカーテンやすだれなどで日差しをカットしましょう。外出時は、昼間でもカーテンを閉めると効果的です。また、扇風機を併用しましょう。風をカラダにあてることで、控えめな設定温度でも涼しく感じることができます。

## 冷蔵庫

ものを詰め込みすぎない

詰め込んだ場合と、半分にした場合の比較

▼ 消費電力の削減量 43.84kWh

🍃 CO<sub>2</sub>の削減量 21.4kg

→約1,180円の節約

設定温度は適切に

設定温度を「強」から「中」にした場合  
（周囲温度22℃）

▼ 消費電力の削減量 61.72kWh

🍃 CO<sub>2</sub>の削減量 30.1kg

→約1,670円の節約



熱いものは冷ましてから保存

麦茶やカレー、シチューなど温かいものをそのまま冷蔵庫に入れていませんか？庫内の温度が上がり、冷やすのに余分なエネルギーを消費してしまうため、冷ましてから入れましょう。

# テレビ



## テレビを見ないときは消す

- 液晶の場合

1日1時間テレビ（32V型）を見る時間を減らした場合

⚡消費電力の削減量 16.79kWh

🍃CO<sub>2</sub>の削減量 8.2kg

→約450円の節約

## 画面は明るすぎないように

- 液晶の場合

テレビ（32V型）の画面の輝度を最適（最大→中間）にした場合

⚡消費電力の削減量 27.10kWh

🍃CO<sub>2</sub>の削減量 13.2kg

→約730円の節約



## 明るさ調節する前に、画面の掃除を

テレビ画面は静電気でホコリを寄せ付けるので汚れやすいです。一週間に一度のペースで掃除をしましょう。

# 洗濯機

## 洗濯物はまとめ洗いを

少量の洗濯物を毎日洗うよりも、洗濯機の容量に合わせて、洗濯回数を少なくしたほうが省エネにつながります。

定格容量（洗濯・脱水容量：6kg）の4割を入れて洗う場合と、8割を入れて洗う回数を半分にした場合の比較

⚡消費電力の削減量 5.88kWh

→約160円の節約

💧水道の節水量 16.75m<sup>3</sup>

→約4,360円の節約

→合計 約4,510円の節約

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。



## すすぎのモード

すすぎは注水すすぎより、ためすすぎを使用しましょう。



# 省エネ家電の選び方

家電の省エネ性能は日々進歩しており、より効率のいい製品に買い替えるということも選択肢の一つです。省エネ家電の性能が一目で分かる2つの「ラベル」をご紹介します。

緑の「e」にご注目！  
「省エネルギーラベル」



メーカーがカタログや家電本体、包装などに表示する「省エネルギーラベル」は、省エネ法で定めた省エネ性能の向上を促すための目標基準（トップランナー基準※）の達成度合いをラベルに表示するものです。

※トップランナー基準：設定時点において最も省エネ性能に優れる製品をさらに上回るように決められた基準

## 省エネ性マーク

目標基準を達成した（省エネ基準達成率100%以上）製品にはグリーン色のマークを表示し、未達成（100%未満）の製品にはオレンジ色のマークを表示します。

## 省エネ基準達成率

その製品が目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。

## エネルギー消費効率

エネルギー消費効率は、機器ごとに定められた測定方法によって得られた数値です。消費電力あたりの明るさなどの効率で表すものや年間消費電力量のようにエネルギーの消費量で表すものがあります。

## 目標年度

目標年度は目標基準を達成すべき年度で、機器ごとに設定されています。

この家電は星いくつ？  
「省エネ統一ラベル」



### ①多段階評価点

市場における家電の省エネ性能の高さを5.0～1.0の多段階で表示しています。

### ②省エネルギーラベル

### ③年間の目安電気料金

この家電を1年間使用した場合の目安電気料金を表示しています。

販売店が家電本体やその近くに表示する「統一省エネラベル」は、星の数で省エネ性能を表しているほか、「省エネルギーラベル」や年間の目安電気料金も表示しています。「統一省エネラベル」が表示される製品は、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、液晶テレビ、電気便座、照明器具です。

電気事業連合会

詳細はこちら→



- ✓ 新規制基準による審査開始以降、審査情報の共有、人的支援など、適合性審査の加速に向けた業界大の取り組みを実施
- ✓ 更なる再稼働加速化を目指し、業界大の取り組み・連携の scope を再稼働に至るまでの業務全般に拡大・強化するため、2021年2月に新たに「再稼働加速タスクフォース」を設置
- ✓ 今後も具体的な追加施策を検討実施し、さらなる再稼働加速に業界一丸で取り組んでいく

### <課題認識>

早期再稼働のためには、審査対応上の技術的課題の早期解決、人的リソース確保が重要

### <対応方針>

これらの課題を解決するためには、業界大で迅速に情報共有・横連携して対応する必要があり、再稼働加速タスクフォースおよび関係会議体にて具体的な追加施策を検討・実施中

### <具体的な取り組み> (次ページご参照)

### <今後の取り組み>

- ◆ 審査課題の情報共有と業界大の機動的支援の継続
- ◆ 未再稼働事業者への人材育成も兼ねた人的支援
- ◆ 業界としての審査知見の蓄積・継承の仕組み構築

# 具体的な取り組み

## ① 業界大の機動的な人的支援の仕組みの構築と実践

審査課題を迅速に各社へ共有し、必要により業界大で機動的に支援をする仕組みを構築

対応事例1：日本原子力発電敦賀発電所2号機について、資料の書き換え等で中断していた審査を早期に再開するため、審査資料の品質向上に向けたプロセスレビュー等を業界大（関西、北陸、中部、四国、九州）で支援

対応事例2：北海道電力泊発電所3号機について、本年3月に規制委員会から示された論点（火山影響評価など）に関する審査資料のレビューを、再稼働済の電力会社（関西、四国、九州）が実施さらに、先行する電力会社の審査内容を網羅的に把握し、泊発電所の審査上の論点を抽出するための検討についても、審査を終えた電力会社（東北、東京、原電、中国、関西、四国、九州）が支援

## ② 後発の審査を加速するための最新審査情報の共有

対応事例1：審査資料作成の効率化を目的に、申請書や審査会合の議事録等、最新の審査情報の電子データをパッケージとして、これから審査が本格化する電力会社に共有

対応事例2：コロナ禍において実施が困難になっていた原子力規制庁の事業者ヒアリングの他社傍聴について、中国電力島根原子力発電所2号機の設工認ヒアリングで実施可能な仕組みを構築し運用

## ③ 再稼働準備に向けた技術的支援

対応事例：JANSIおよび再稼働済みの関西電力の協力により、再稼働に至るまでに得た知見や教訓を、これから再稼働を目指す電力会社と共有するための「再稼働準備内容説明会」を開催

地元をはじめ社会の皆さまとのコミュニケーションを行い、ご理解をいただきながら、これらの取り組みを現在審査中の他のプラントにも活用し、早期再稼働を確実に達成するよう、私どもとしても最大限取り組んでいく